

熱海港湾エリア賑わい創出整備懇話会

第1回

議題：渚第4工区護岸形状について

令和6年7月30日

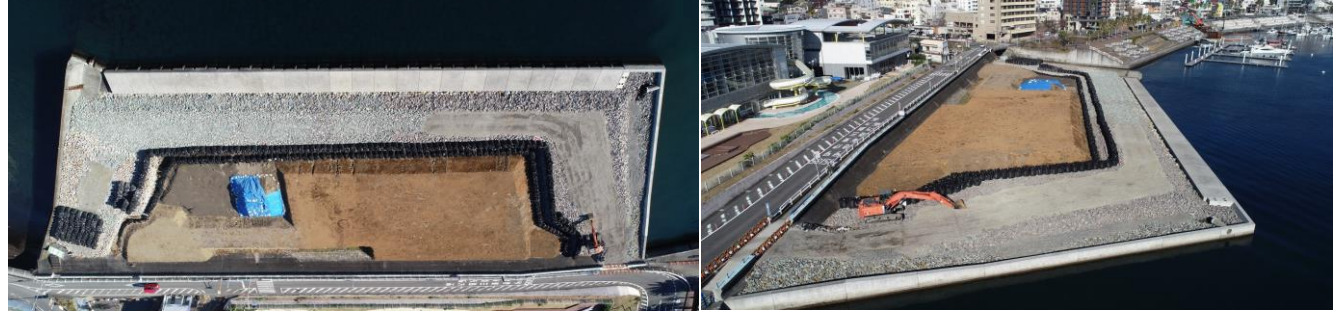
熱海市

事業位置

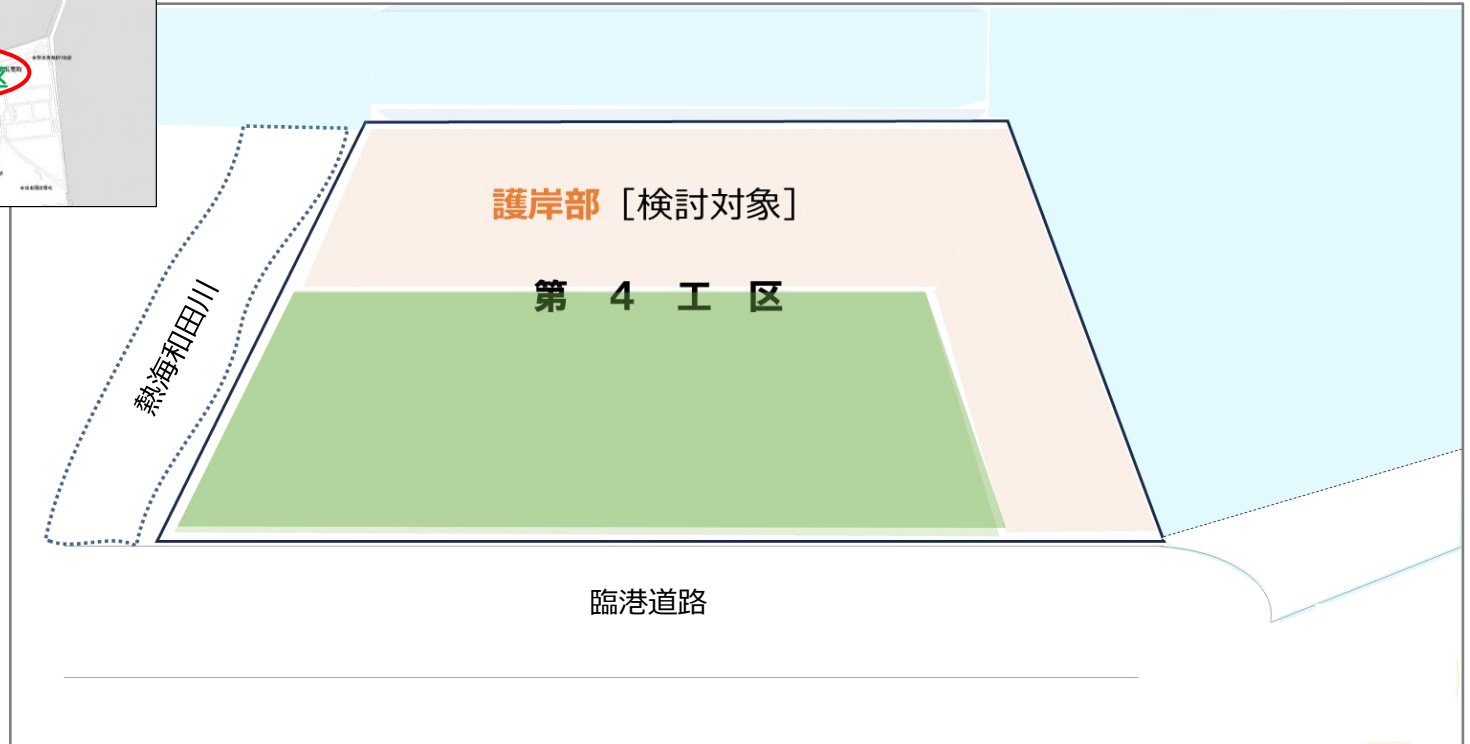
事業位置



第4工区の現状



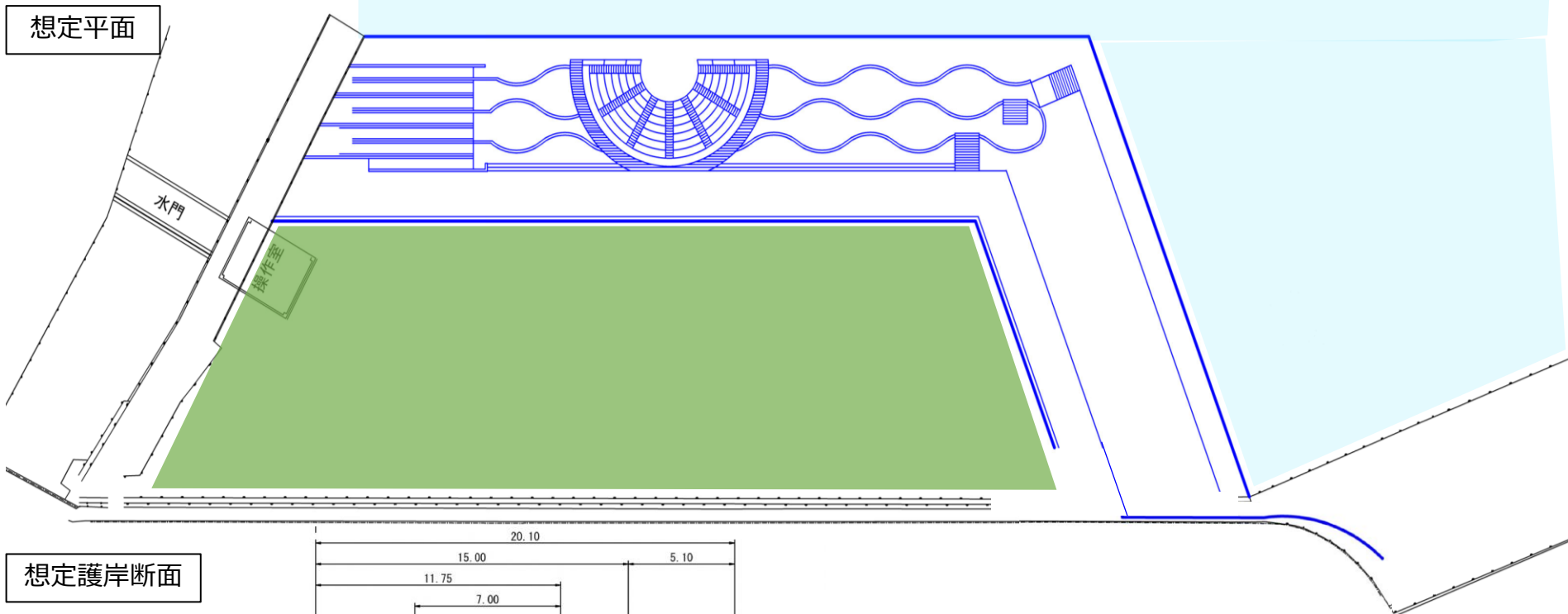
平面図



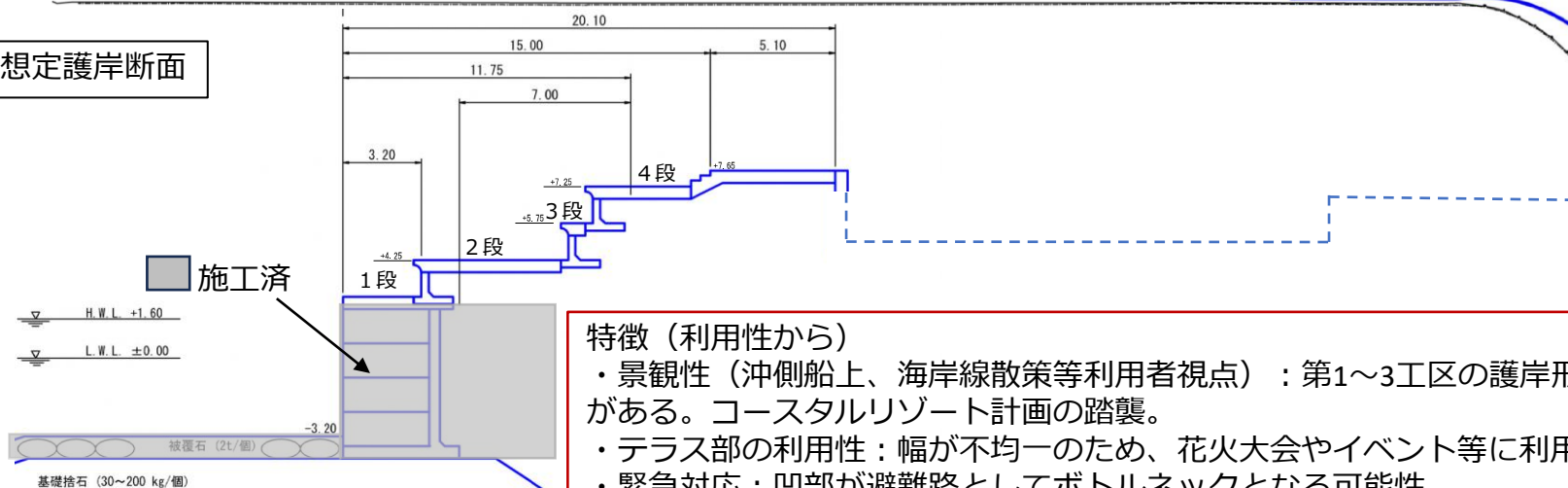
A案 (波型4段)

計画を青線で示す

想定平面



想定護岸断面



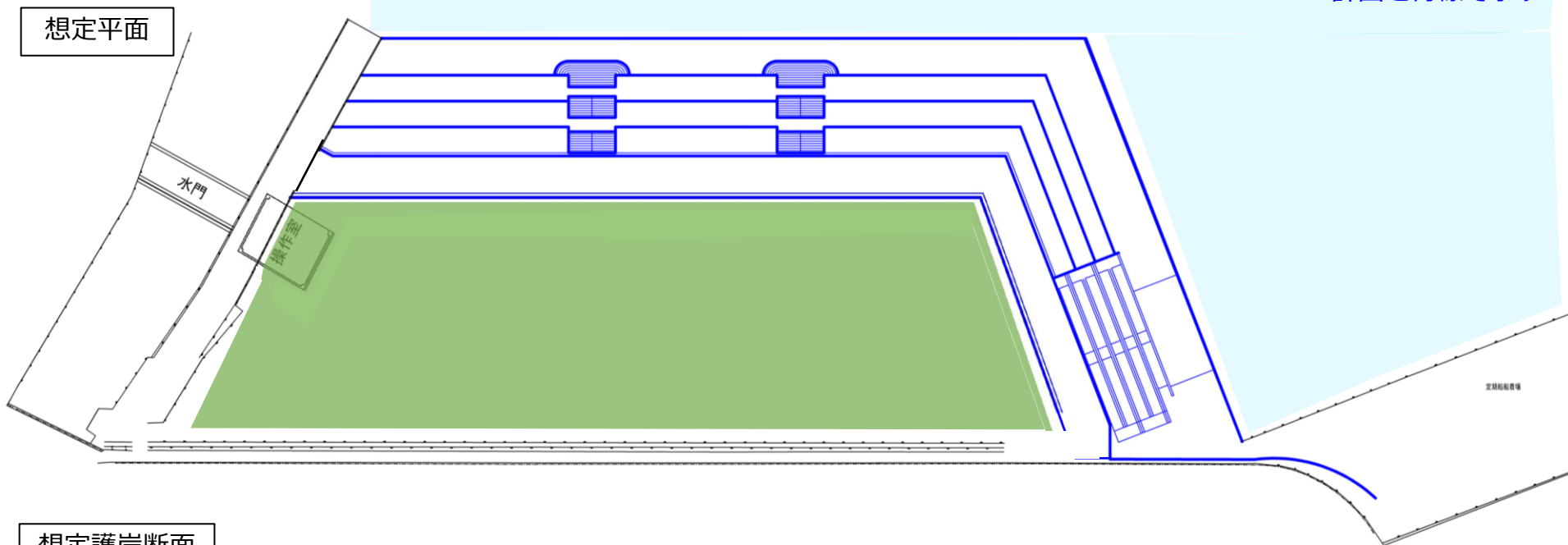
特徴 (利用性から)

- ・ 景観性 (沖側船上、海岸線散策等利用者視点) : 第1~3工区の護岸形状と統一性がある。コースタルリゾート計画の踏襲。
- ・ テラス部の利用性 : 幅が不均一のため、花火大会やイベント等に利用しにくい。
- ・ 緊急対応 : 凹部が避難路としてボトルネックとなる可能性。

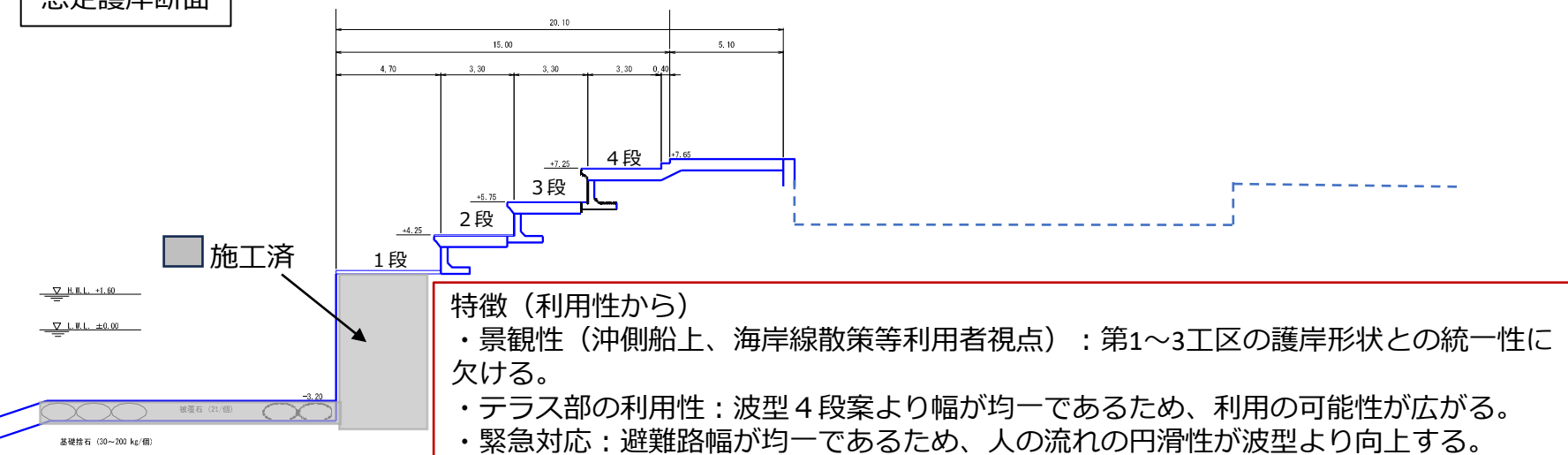
B案（直線4段）

計画を青線で示す

想定平面



想定護岸断面



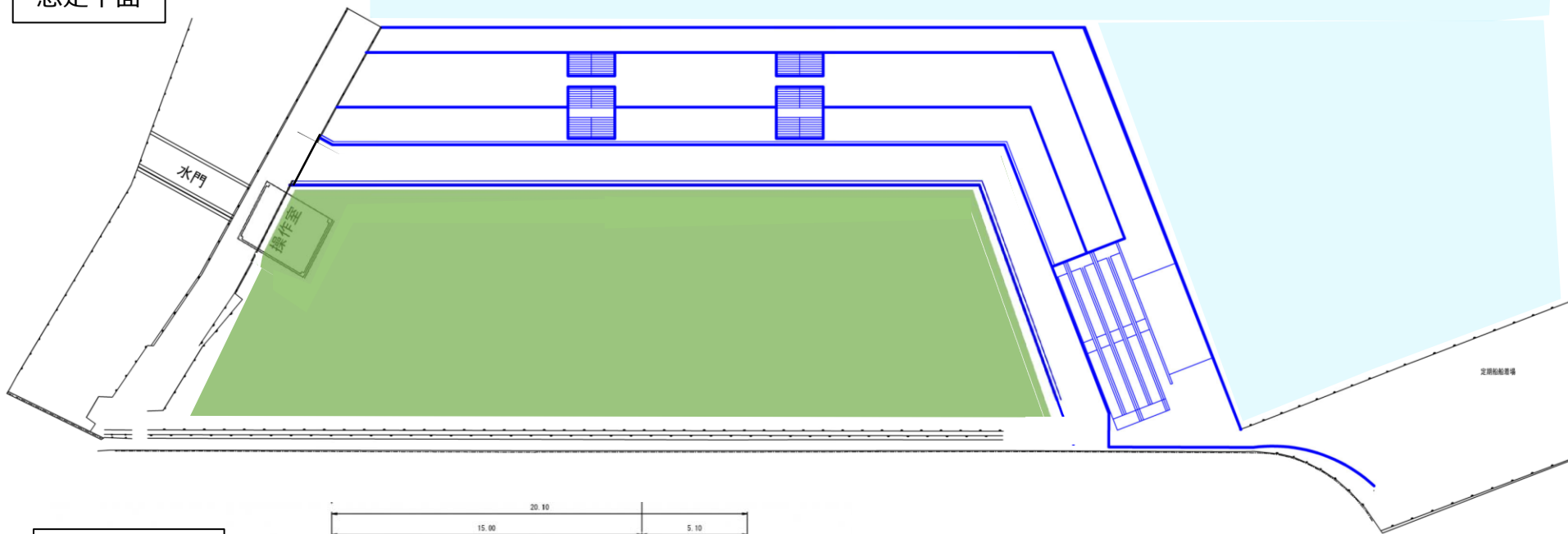
特徴（利用性から）

- ・ 景観性（沖側船上、海岸線散策等利用者視点）：第1～3工区の護岸形状との統一性に欠ける。
- ・ テラス部の利用性：波型4段案より幅が均一であるため、利用の可能性が広がる。
- ・ 緊急対応：避難路幅が均一であるため、人の流れの円滑性が波型より向上する。

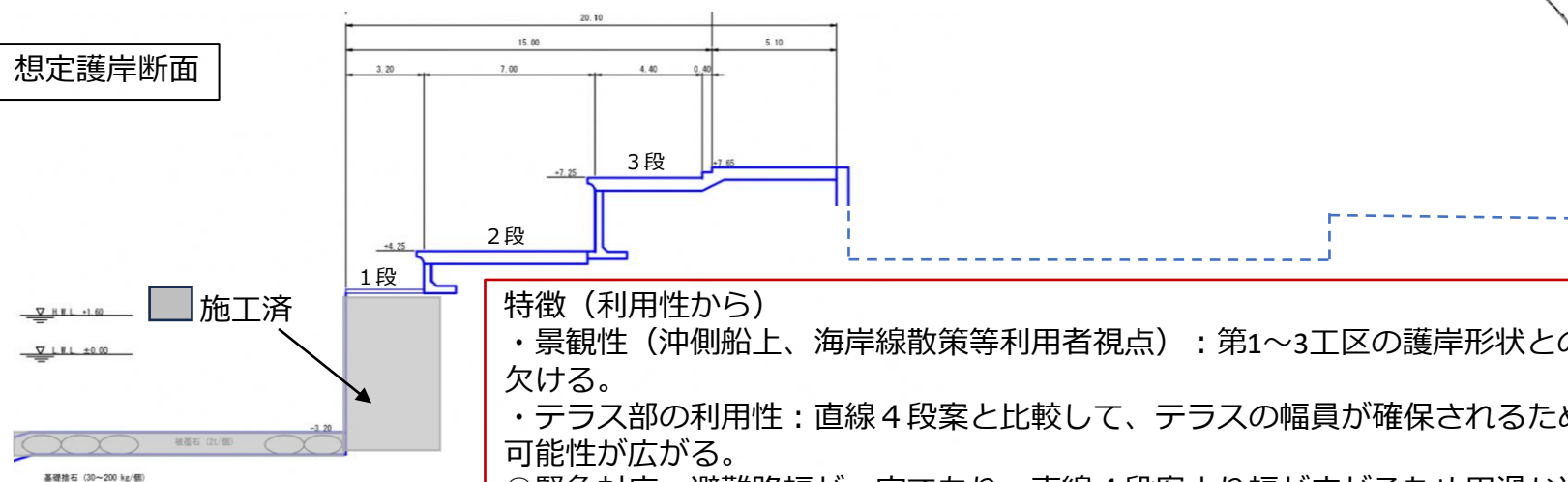
C案（直線3段）

計画を青線で示す

想定平面



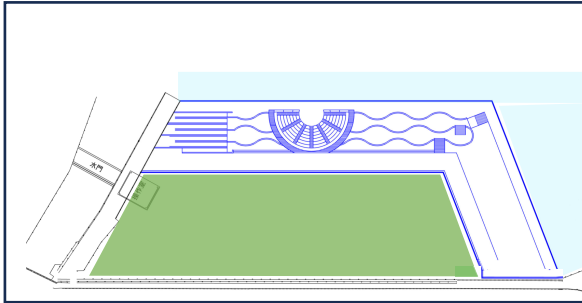
想定護岸断面



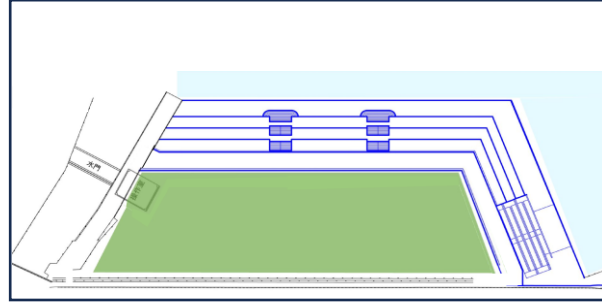
特徴（利用性から）

- ・景観性（沖側船上、海岸線散策等利用者視点）：第1～3工区の護岸形状との統一性に欠ける。
- ・テラス部の利用性：直線4段案と比較して、テラスの幅員が確保されるため更に利用可能性が広がる。
- 緊急対応：避難路幅が一定であり、直線4段案より幅が広がるため円滑な避難が可能となる。

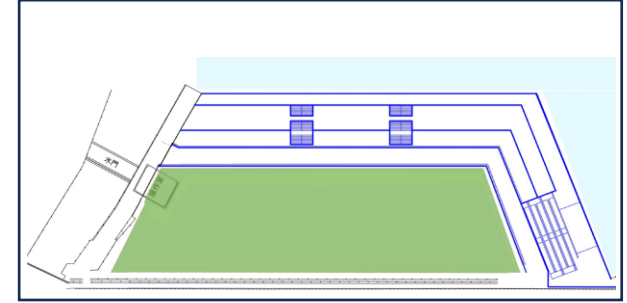
A案（波型4段）



B案（直線4段）



C案（直線3段）



○：3案の中で優位性が高いことを示す

評価の視点	A案 波型4段	B案 直線4段	C案 直線3段
①景観性（沖側船上、海岸線散策等利用者視点）：第1～3工区の護岸形状と統一性、連続性がある。コースタルリゾート計画の踏襲	○		
②テラス部の利用性：イベントスペースの確保		△	○
③緊急対応：避難時の円滑さ		△	○
④設計・施工経費		△	○
総合評価		△	○